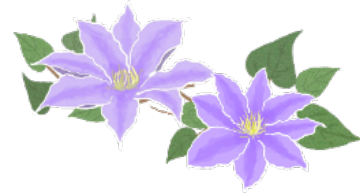


校長室だより NO 2

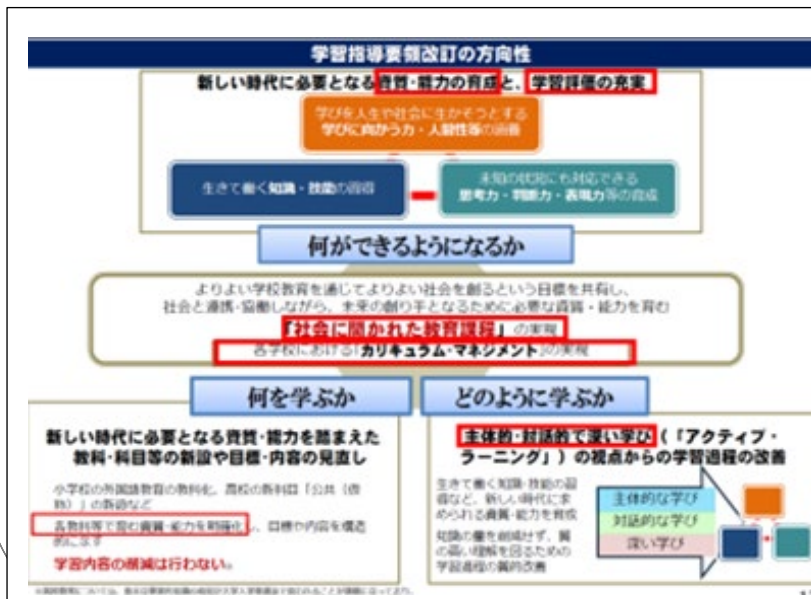


梅雨入りが近いと言われながらも、今週はお天気も良く気持ちの良い初夏らしい日が続きました。いよいよ今週から、高等部の生徒は現場実習が始まりました。生徒たちは、疲れた様子もありながら、校長室に帰校報告に来てくれています。卒業後の社会への一歩としてこれから頑張ってくれることと思います。高等部1年生は、初めての校内実習です。働くことへの意識を高めるために、いろいろなことにチャレンジしていきます。高等部の保護者の皆様も、期待と不安の日々だと思いますが、温かく見守ってあげてくださいね。

5月のPTA茶話会の話で、ちょうど「現場実習」の話が出ていました。初めての現場実習は、保護者が実習先へ送り迎えがあったり、家庭でも実習ノートに保護者が書かなくてはいけなかったり、実習の評価を見てショックを受けたり…などの高等部のお母さん方から現場実習について知らないことがたくさんあったと話してもらいました。今では、笑うことができるけれど、何を担任に聞いたらいいかもわからない状態で不安もいっぱいだったそうです。初めての実習を迎えて保護者の皆さまはどうでしょうか。困ったことは遠慮なく担任にお尋ねください。そしてお時間があるとき、ぜひ茶話会に参加して困ったことを相談してください。

【中村特別支援学校が取り組んでいること】(個別の指導計画の見方①)

学習指導要領がH29年から小学部から順に改訂され、今年度から高等部においても全面実施されるようになりました。新しい時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価の充実が重要とされており、本校でも取り組んでいるところです。これからの懇談時の参考にしてください。



個別の指導計画で記載されている個々の教科の目標を資質・能力の育成として3つの柱

- ・知識・技能
- ・思考力・判断力
- ・学びに向かう力、人間性

で考えています。

そして、学習評価として

- ・何が身についたか

を目標の内容からの確に評価していきます。学習評価は、「学習」や「指導」の改善を目的として行われていますので、指導と評価の一体化が重要です。担任からの個別の指導計画の説明から、子どもたちの各教科で課題としていることを聞いてください。

第1回土砂災害避難訓練を行いました。

中村特別支援学校では、これまで行ったことがなかった土砂災害についての避難訓練を5月25日(水)13:30から行いました。お天気の良い日でしたが、朝から大雨が降って、寄宿舎の近くの裏山から小石が落ちてきた設定で、子どもたちは、裏山から離れた校舎の2階に逃げたり、垂直避難の練習をしました。その前に、学部ごとに集まって「土砂災害」についての事前学習も行いました。中村特別支援学校が建っている場所は、土砂災害の危険地域となっており、避難訓練が必要と考えています。自分の命を守るためいろいろな災害に対する練習を重ねていく予定をしています。

ぜひ、おうちでも一緒に話し合ってくださいね。災害時の保護者のお迎えを「すぐーる」で連絡する方法など、学校でも検討をしているところです。そのためにもすぐーるの登録をよろしくお祈いします。登録者は、保護者全体の2/3超えの70名弱です。登録をお忘れの方は、この機会にお祈いします。登録方法など不明なことは担任にお尋ねください。

